

●●●● 令和3年度の開始に当たって ●●●●

教育庁指導部 義務教育指導課長 中嶋 富美代

葉桜の下でスタートした令和3年度、各学校ではコロナ禍における新たな日常の中、先生方の様々な工夫により、新学習指導要領に基づく教育活動が開始されていることと思います。

この3月に文部科学省から出された「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」では、学習指導要領に示された資質・能力の育成に向けて、ICT環境も最大限活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ること、カリキュラム・マネジメントの取組を一層進めることの重要性が記されています。

社会が大きく変化する中でも、子供たちが自ら考え判断し行動することによって、豊かな人生を切り拓き、明るい未来を築くことができるよう、求められる授業改善等の推進に向けて、義務教育指導課では、今年度から次の取組を開始いたします。

◆新たな都学力調査の実施と授業改善の推進

都学力調査の内容を、教科の調査から、子供たちの学ぶ意欲や学び方等に焦点を当てたものにし、対象を小4から中3までに拡大して実施します。そして、全国学力調査の結果等と関連させて分析し、新学習指導要領で育成を目指す「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を育む授業改善の在り方を、小・中学校計20校の授業改善推進拠点校に御協力いただき、追究してまいります。

◆小学校教科担任制等推進校事業の実施

子供たちの学びに対する関心・意欲の向上や、複数の教員による多面的な児童理解の促進を図るため、都独自の小学校教科担任制の在り方を研究していきます。推進校となる小学校10校で、高学年の理科又は体育において中学校教員を専科教員として配置するとともに、学級担任による教科の授業の分担を進めていただき、教材研究や授業の質の向上、児童の学力面や生活面の変容等について検証します。こうした実践を踏まえ、小学校の指導体制を充実させてまいります。

この他、子供たちの「知」「徳」を着実に育む事業を区市町村教育委員会と連携して推進し、「Scrum—スクラム—」や「学びの支援サイト」、「義務教育指導課 Youtube チャンネル」等を通して情報発信してまいります。学校や先生方の役に立つ義務教育指導課となるよう尽力してまいりますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

掲載内容

○ 指導部義務教育指導課 令和3年度の事業について

東京都教育委員会のホームページ内「学びの支援サイト」

令和2年度に発行されたメール・マガジン「スクラム」は、こちらに掲載しています。



← (URL https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/learning_support.html)



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを御送信ください。



令和3年度のスタートに当たり、今年度の当課の主な事業について御紹介します。
 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から予定を変更する場合があります。今後、区市町村教育委員会を通じて通知等が発出されますので、そちらも併せて御確認ください。

児童

生徒

…コンテストなど、児童・生徒の参加がある事業

教員

…研修など、先生方に御参加いただく事業

新規

…今年度の新規事業

■ 学力向上

○ 児童・生徒の学力向上を図るための調査

児童

生徒

- ・実施日 令和3年9月（詳細は、後日お知らせします。）
- ・対象 小学校第4学年から第6学年までの児童
中学校第1学年から第3学年までの生徒
- ・内容 児童・生徒の学習意欲や学校・家庭での学習の進め方など、学びに向かう力等に関する内容（令和3年度の調査から、児童・生徒がパソコンやタブレット端末を活用し、ウェブ上で質問に回答する方法に変わります。）

○ 授業改善推進拠点校事業

新規

児童・生徒の学力向上を図るため、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を全国学力・学習状況調査の結果等と関連付け、学びに向かう力等に注目しながら分析し、指導と評価の一体化による授業改善を組織的に推進する取組を実践的に研究・開発し、その成果を全都に普及していきます。

〈取組内容〉

- ア 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の効果的な分析方法の開発・実践
- イ 授業改善の実現に向けた組織的なOJT 推進の実践事例の開発
- ウ 児童・生徒一人一人の学びに向かう力等を育む指導方法の開発・実践
- エ 効果的な家庭学習の指導事例の開発
- オ 研究・開発による成果の全般的な発信及び普及
- カ その他、児童・生徒の学力向上を推進する取組

〈指定期間〉

令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間

〈設置校〉

〔小学校 10校〕
 新宿区立戸山小学校
 杉並区立杉並第一小学校
 北区立王子第五小学校
 荒川区立第五峡田小学校
 江戸川区立第三葛西小学校
 昭島市立拝島第二小学校
 町田市立鶴川第二小学校
 福生市立福生第六小学校
 狛江市立狛江第一小学校
 多摩市立多摩第三小学校

〔中学校 10校〕
 港区立港南中学校
 文京区立第十中学校
 世田谷区立芦花中学校
 練馬区立上石神井中学校
 葛飾区立金町中学校
 立川市立立川第八中学校
 三鷹市立第五中学校
 青梅市立第三中学校
 府中市立浅間中学校
 西東京市立青嵐中学校

■ 小学校教科担任制等推進事業

○ 小学校教科担任制等推進校事業 新規

都では、国に先駆けて今年度から、都内10の小学校を「小学校教科担任制等推進校」に指定し、小学校教科担任制のモデル事業を実施します。

小学校教科担任制等推進校には、中学校の理科又は保健体育の教員を配置し、高学年の理科又は体育は、配置された教員が指導を行います。また、専科教員が担当する教科（音・図・家など）は、専科教員等が指導を行い、他の教科については、学級担任及び専科教員等が分担して指導を行うことで、中学校並の教科担任制を実施していきます。

〈小学校教科担任制等推進校の役割〉

- (1) 専門性の高い教科指導を実現し、中学校教育への円滑な接続を図る。
- (2) 複数の教員による多面的・多角的な児童理解を促進し、学年・専科のまとまりによる組織的な生活指導を実践する。
- (3) 個別最適化された学びの実現に向けた、ICTを活用した指導の在り方を開発する。
- (4) 積極的に地域や関係諸機関等との連携を図り、地域人材等を活用した指導の在り方を開発する。
- (5) 児童・教員・校長へのアンケート調査等による成果検証、研究成果の全都的な発信及び普及を図る。

〈指定期間〉

令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間

〈小学校教科担任制等推進校〉

墨田区立二葉小学校	大田区立池上小学校
世田谷区立下北沢小学校	渋谷区立幡代小学校
板橋区立桜川小学校	練馬区立豊玉小学校
八王子市立みなみ野小学校	立川市立第五小学校
町田市立南大谷小学校	国分寺市立第三小学校

■ 外国語教育

○ 小学校英語専科教員連絡協議会 教員

小学校英語専科教員へ小学校学習指導要領の趣旨等を伝達し、英語専科教員としての資質・能力の向上や、各小学校における外国語教育の充実を図ります。

また、小学校英語専科教員同士で情報共有を行います。

- ・実施日 令和3年4月26日（月曜日）
 - ・会場 東京都教職員研修センター111研修室
 - ・内容 小学校学習指導要領の趣旨について、外国語科・外国語活動における学習評価等について（予定）
- 延期** 新たな日程、会場等については後日お知らせします。

○ 小学校英語専科教員配置校訪問 教員

小学校英語専科教員の現状を把握するとともに、訪問の際に参観する授業への指導・助言等を通じて、小学校英語専科教員の指導力の向上を図ります。

- ・実施日 令和3年6月から令和4年1月までのうちの1日（各配置校と日程調整の上、訪問します。）
- ・会場 小学校英語専科教員配置校
- ・内容 授業参観、小学校英語専科教員への指導・助言等

○ **中学校英語科教員を対象とした授業力向上セミナー**

教員

令和3年度から全面実施の中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、指導と評価の一体化を実現するため、経験豊かな指導教諭等の実践事例を通じて学習評価についての理解を深め、学習指導・学習評価の改善を図ります。

- ・実施日：令和3年12月、令和4年1月、2月頃に実施（予定）
※詳細な日程は、各区市町村教育委員会を通じて後日お知らせします。
- ・対象：中学校英語科教員（希望者）
- ・内容：具体的な単元の指導計画に基づいた学習評価の実践事例紹介、協議等（予定）

■ **理数教育**

○ **東京都小学生科学展**

児童

東京都小学生科学展は、全都の理数好きの小学生が、自ら決めたテーマを深く研究することで理数についての資質・能力を高め、その成果を発表することを通して、理数好きの児童を更に増やすことを目的としています。平成27年度から開催し、今年度で7回目を迎えます。

- ・実施日 令和4年1月7日（金曜日）から令和4年1月10日（月曜日・祝日）まで
- ・会場 日本科学未来館
- ・対象 都内公立小学校等及び都立特別支援学校小学部に在籍する児童
(第1学年から第6学年まで)

○ **中学生科学コンテスト**

生徒

東京都内の中学校に在籍する生徒が理科・数学等の能力を競い合い切磋琢磨^{せつさくたくま}する場を提供することで、理科・数学等に対する意欲・能力を更に伸ばし、科学好きの生徒の裾野を広げるとともに、「科学の甲子園ジュニア全国大会」（令和3年12月上旬を予定）までに参加する東京都代表チームの選考を行います。

- ・実施日 令和3年9月20日（月曜日・祝日）
- ・対象 都内中学校第1・第2学年の生徒
- ・内容 3人1組のチームで筆記・実技競技を行います。

○ **東京ジュニア科学塾**

児童

生徒

未来の科学技術を担う人材を輩出するため、東京都内の公立小学校第6学年の児童、公立中学校第1学年及び第2学年の生徒を対象に、科学に関する専門家等による指導を行う「東京ジュニア科学塾」を年3回オンライン配信で開催します。

開催予定日は以下の通りです。

令和3年10月24日（日曜日）天文分野

令和3年12月12日（日曜日）数学分野

令和4年2月6日（日曜日）環境・再生エネルギー分野

募集に関する詳しい情報は、開催日の2か月前に各学校へ通知するとともに、東京都教育委員会ホームページでもお知らせします。



《令和2年度の開催》
「ロボットとコンピュータで
昆虫の不思議な能力を探る」
実施日時：令和3年2月11日（木・祝）
※オンラインにて開催

■ 環境教育

○ 環境教育の推進

東京都教育委員会のホームページで「環境教育指導資料」及び「環境教育掲示用教材」を公開し、環境教育の推進を進めています。環境教育のより一層の充実のため、是非御活用ください。

・「持続可能な地球を目指して—東京都環境教育指導資料—」

教員

児童・生徒が、地域や地球規模の環境問題について、自らの課題として考え解決していく資質・能力を育成するため、教科等の学習内容に関連する環境教育の充実に資する基本的な考え方や指導方法等を示した環境教育指導資料を作成し、ホームページ上で公開しています。



https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/environment/instructional_materials.html

・「環境教育掲示用教材」

児童

生徒

教員

持続可能な開発のための教育（ESD）や持続可能な開発目標（SDGs）との関連を踏まえた環境保全に関する具体的な内容を掲示用資料として示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的として作成しています。ホームページ上で、掲示用教材、ワークシート、指導資料（略案）、図表を公開しています。



<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/environment/bulletin.html>

○ 環境教育掲示用教材の補助資料作成・データの配布

新規

児童

生徒

教員

児童・生徒の持続可能な社会を構築していくための資質・能力の更なる育成を図ることを目的として、令和2年度に作成した環境教育掲示用教材の内容をより深めるための補助資料を作成し、電子データで配布します。

また、補助資料に使用した画像等を電子データで配布する等、一人1台端末で活用できる授業展開を提案します。

■ 道徳教育

○ 「特別の教科 道徳」授業力向上セミナー

教員

子供たちの豊かな心を着実に育む道徳科の授業の実現に向けて、「『特別の教科 道徳』授業力向上セミナー」を実施します。本セミナーでは、東京都道徳教育推進委員の先生方による授業実践を公開するとともに、道徳科の指導の工夫や評価の在り方等についての協議等を行います。令和3年9月から12月までに、小学校・中学校でそれぞれ2回実施する予定です。道徳科の授業の一層の充実に向け、是非御参加ください。（本セミナーの内容や実施については、状況により変更する場合があります。）

○ **道徳教育のカリキュラム・マネジメントのためのガイドブック等に関すること** 教員

令和3年3月に、道徳教育の効果的なカリキュラム・マネジメントを実現するためのガイドブック「Do-NAVI vol.3」を、全ての先生方に配布しました。学校の教育活動全体を通じて取り組む道徳教育の在り方や考え方について、東京都道徳教育モデル校の取組や具体的な事例などを紹介しながら解説しています。「vol.1」（平成31年3月配布）、「vol.2」（令和2年3月配布）と併せ、道徳教育の充実に向けて、御活用ください。

また、同じく令和3年3月に、「特別の教科 道徳 指導読本Ⅲ『道徳科 校内研修ノート』」を、各学校に配布しました。道徳教育に関する17の項目について、校内研修で活用できる演習シートを掲載しています。「Do-NAVI」と併せて活用することで、校内研修の充実を図ることができます。

「Do-NAVI vol.1～3」や「特別の教科 道徳 指導読本Ⅲ『道徳科 校内研修ノート』」は、教職員研修センターホームページ内の「教職員専用ページ」の「OJT・自己啓発支援」に電子データ版を掲載しています。ぜひ御活用ください。



○ **東京都道徳教育教材集の活用の推進** 児童 生徒 教員

都独自の道徳教育教材集「心あかるく」（小学校低学年版）、「心しなやかに」（小学校中学年版）、「心たくましく」（小学校高学年版）、「心みつめて」（中学校版）を、一部改訂しました。

第二章の読み物教材を充実させるとともに、発問例を付し、「考え、議論する道徳」の実現に資するよう工夫しています。

また、様々な道徳的価値について、家庭で子供たちと保護者が一緒に考えたり話し合ったりすることもできます。

学校と家庭とが一体となって取り組む道徳教育の充実に向け、東京都道徳教育教材集を是非御活用ください。（教材集と併せて配布している「保護者用リーフレット」では、家庭での教材集の活用例などを紹介しています。）



東京都道徳教育教材集 小学校版
中学校版

■ 就学前教育

○ 就学前教育カンファレンス

教員

就学前教育と小学校教育との円滑な接続の重要性について、小学校教員・保育者等に広く啓発を図るためのカンファレンス（会議）を開催します。

- ・実施日 令和3年7月16日（金曜日）午後
- ・会場 杉並公会堂
- ・参加対象 国公立就学前教育施設関係者（幼稚園教諭、保育士、保育教諭等）、国公立小学校教員、公立特別支援学校教員、区市町村教育委員会指導主事、各主管課職員等（定員500名程度を予定）
- ・テーマ 就学前教育と小学校教育との一層の円滑な接続のために（予定）

○ 幼稚園教育研究協議会

教員

幼稚園教育の振興・充実を図るために、公開保育や協議主題に基づいた研究協議会、講演等を行います。

- ・実施時期 令和3年9月から11月頃までを予定
- ・会場 都内公立幼稚園及び私立幼稚園（各1園ずつを予定）
- ・協議主題
 - 新型コロナウイルス感染症対策にも配慮した幼稚園の活動
 - カリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施する学校評価について
 - 小学校教育との接続に向けた教育課程や指導方法の工夫について